

「アルカリ骨材反応に関する鉄筋コンクリート構造物の健全性評価  
及び維持管理方法検討会」の設立について

当協会は、四国電力㈱からの依頼を受けて標記委員会を設立し、アルカリ骨材反応（以下、A S R と略記）が生じているタービン発電機架台をはじめとする伊方発電所 1 号機の鉄筋コンクリート構造物（以下、R C 構造物と略記）について、長期健全性の評価及び維持管理方法の検討を実施することとなりました。

その概略は下記のとおりです。（予定）

記

期間：平成 1 8 年 5 月～ 8 月

内容：① A S R に関する R C 構造物の調査及び解析方法の検討  
② A S R を生じた R C 構造物の長期健全性評価の検討  
③ A S R を生じた R C 構造物の維持管理方法の検討

備考：なお、伊方発電所 1 号機タービン発電機架台に関しては、依頼者から下記の補足説明を受けております。

- ・ A S R によるコンクリートの膨張やひび割れが認められたためコンクリート物性等の調査や定期的な変形計測を実施していること
- ・ 最新の知見を反映した構造解析等により、現状における安全上の問題はないことを確認していること
- ・ A S R の抑制及び鉄筋の腐食防止を目的にひび割れ補修等を実施し、新たなひび割れの発生や進展がないことを確認していること